

「広東・香港・マカオ大湾区」広東省内の重点地域 － 広州市南沙区 －

- 広東省は広州南沙・深セン前海・珠海横琴、深セン河套を大湾区構想の「重要なプラットフォーム」に指定。それぞれの強みを生かし企業誘致・支援策を実施。
- 中国国務院は2022年6月17日、「広州市南沙区における広東省・香港・マカオ間の全面的な協力を深化する総体方案」を発表した。広東省、香港、マカオ間の協力を促進に向けた重要なプラットフォームとして、南沙区が広東・香港・マカオ大湾区の建設の牽引役となることを目指している。



- ◆ 成立时间：2022年6月6日
- ◆ 概況：大湾区の中心に位置し、香港から38海里、マカオから41海里。総面積は803平方キロメートルで、人口は120万人余り。
- ◆ 管轄部署：[南沙区政府](#)
- ◆ 重点産業：チップ・集積回路産業、航空・宇宙飛行産業、自動車製造業、ハイテク設備製造業、船舶製造業、海洋生物資源開発など。
- ◆ 主な取り組み：国際海運物流ハブ機能の強化。バイエリアの原材料や消費財、食品などの商品のサプライチェーン管理プラットフォームの構築。コネクテッドカー、工業用ロボット、サービスロボット、ドローン、無人ボートなどの研究開発、産業化を推進。
- ◆ 優遇措置：「[外資企業の発展を促進するための支援弁法](#)」（2025年8月24日まで実施）、「[南沙区企業所得税優遇政策](#)」（2026年12月31日まで実施）、「[商貿サービス業の質の高い発展を促進するための支援弁法](#)」（2025年12月31日まで実施）

●南沙区2023年経済指標（億元）

一定規模以上工業産値	前年同期比	固定資産投資	前年同期比	消費	前年同期比	輸出	前年同期比	輸入	前年同期比	対内投資	前年同期比
3,863	2.9%	-	▲9.4%	332	12.8%	1,568	▲4.6%	1,345	▲1.7%	126	▲27.1%

（出所）広州市南沙区政府

「広東・香港・マカオ大湾区」広東省内の重点地域 － 深セン市前海区 －

- 深セン市は2011年12月16日、「前海現代サービス業合作区総体発展規画」を発表し、さらに、国務院は2021年9月6日、「前海深セン・香港現代サービス業合作区改革開放を強化する方案」を発表した。
- 前海において広東と香港の協力をさらに深化させ、現代サービス業の発展により産業構造の最適化とグレードアップを促進し、対外開放の新たな枠組みを構築し、全国の発展方向の転換と科学的発展の実現のためにけん引する役割を果たす。



- ◆ 成立时间：2011年12月16日
- ◆ 概況：前海は深セン市の西部、珠江口の東岸に位置し、香港・マカオに隣接し、総面積は121平方キロメートル。
- ◆ 管轄部署：[前海深セン・香港現代サービス業合作区管理局](#)
(Tel : 0755-12345, Email : zxts@qh.sz.gov.cn)
- ◆ 産業配置：**【ビジネスセンター】**金融、情報、貿易など現代サービス業。**【保税港】**現代物流、海上運送、サプライチェーン管理などサービス業。**【総合発展区】**ビジネスセンターと保税港の機能拡張を受け、両エリアとの協調発展。**【臨海レジャーエリア】**観光、コンテンツなど。
- ◆ 主な取り組み：金融などのサービス業について国際標準を満たす発展、人工知能（AI）やスマート金融、スマートシティなどの科学技術について新型の研究開発機構を設立、金融業や法律サービス業のさらなる開放によるサービス貿易の自由化。
- ◆ 優遇措置：「[企業所得税優遇政策](#)」（2025年12月31日まで実施）、「[深セン・香港の協力強化、本部企業の発展支援に係る実施弁法](#)」（2025年12月28日まで実施）

【前海動向】

- 2023年1月6日、「2023中国（深セン）-日本（東京）ビジネス交流座談会」が開催され、深セン市前海管理局、南山区政府などが出席。
- 前海2023年上半期GRPは前年同期比15.8%増、営利目的サービス業（注）は同30.9%増、金融業は同29.2%増。
- 国務院は2023年12月12日、「前海現代サービス業合作区総体発展規画」を認可すると発表した。
- 2023年12月20日、深セン・香港知識財産権運営連盟が前海で成立。

(出所) 前海管理局

「広東・香港・マカオ大湾区」広東省内の重点地域 — 珠海市横琴 —

- 国務院は2021年9月5日、「横琴における広東・マカオ深度合作区建設総体方案」を発表した。
- 横琴は「マカオ経済の多様化を促進する新たなプラットフォーム」「マカオ住民の生活・就職の利便性向上させる新空間」「一国両制の新たな実践」「大湾区建設を促進する新たな高地（影響力のある場所）」と位置付けられている。



- ◆ 成立时间：2021年9月5日
- ◆ 概況：横琴は珠海市の南部に位置し、マカオと隣接する。総面積は106平方キロメートル。
- ◆ 管轄部署：[横琴広東・マカオ深度合作区](#)（Tel：0756-8938-789）
- ◆ 主な取り組み：（1）マカオの優位産業であるハイエンド製造業、漢方薬、観光業、金融産業の発展の促進、（2）区内におけるマカオ住民に対する就業生活環境の提供、（3）金融管理のイノベーションに向けた開放体系の構築や貨物通関、人員出入り一体化
- ◆ 優遇措置：[「個人所得税優遇措置」](#)（2025年12月31日まで実施）[「企業所得税優遇措置」](#)[「奨励類産業リスト」](#)[「企業のコスト削減に関わる10条の措置」](#)
- ◆ 横琴動向：（1）9月8日から合作区においてマカオで認可された医薬品の一部の使用を許可、（2）横琴税務局は2023年10月、多言語対応サービスを増設、（3）国務院は2023年12月13日、「横琴における広東・マカオ深度合作区総体発展規画」を認可すると発表した。

● 横琴2023年1-10月経済指標（億元）

一定規模以上工業産値	前年同期比	固定資産投資	前年同期比	消費	前年同期比	貿易	前年同期比	対内投資	前年同期比	企業数（社）	前年同期比
7.8	28.6%	-	▲20.4%	26.5	32.0%	240.5	▲26.3%	57.1※	80.1%	55,544	1.6%

※2023年の米ドル平均レート7.0467で換算

（出所）横琴広東・マカオ深度合作区

「広東・香港・マカオ大湾区」広東省内の重点地域 —深セン市河套地域—

- 深セン市と香港は2017年1月3日、「落馬洲・河套地域の共同発展を促進する合作備忘録」に署名して、河套において深セン・香港科技創新合作区を建設することを明確にした。
- 国務院は2023年8月8日、「河套深セン・香港科技創新合作区の深セン園區の發展規画」を發表し、科学技術を主力産業とし、世界レベルの科学研究ハブを目指している。



- ◆ 成立時間：2017年7月1日
- ◆ 概況：深セン市福田区の南部と香港の辺境に位置し、総面積は3.89平方キロメートル（うち香港側0.87平方キロメートル、深セン側3.02平方キロメートル）
- ◆ 管轄部署：深セン園區—[河套深セン・香港科技創新合作区建設發展事務局](#)（Tel：0755-8348-0525、Email：hzqb_contactme@szft.gov.cn）、香港園區—[香港・深セン創新科技园有限公司](#)
- ◆ 重点産業：医療科技、ビッグデータ、人工知能、ロボット、新材料、マイクロエレクトロニクス、金融科学技術。
- ◆ 主な取り組み：科学技術のイノベーションを促進、国際競争力がある産業の中間テストと成果転化基地を建設、国際化科学技術イノベーションメカニズムを構築、世界の知恵を集積する科学技術合作プラットフォームを建設。
- ◆ 支援策：（1）知識財産権に関する法律サービス、重大産業化プロジェクト、賃貸などの分野で補助金を提供する。（2）科技類企業向け弁公室を提供する。（3）人材の教育、居住などの分野で支援する。

【河套動向】

- 2023年上半期まで、河套には447社科学技術類企業と23社の科学研究機構が集積、発明特許の登録件数は956件になった。
- 2023年9月7日、河套深セン・香港科技創新合作区の深セン園區には40のハイエンド科学研究項目が入居する。
- 2023年11月28日、河套に入居した企業が中東地域の科学研究機関に独自開発生産の超伝導量子チップを納入した。